

A型肝炎

どんな病気？



A型肝炎ウイルスに汚染された水や食べ物などによる経口感染や、感染者との性的接触によって急性肝炎をおこす感染症です。小児では感染しても症状が出ない不顕性感染が多いですが、成人では感染者のほとんどが発病します。症状としては38℃以上の発熱・全身倦怠感・下痢・黄疸が現れ、治癒するまでには2～3か月間ほどかかります。まれに劇症肝炎をおこすこともあります。

ワクチンの接種対象

任意接種です。2～4週間隔で2回接種し、1回目から24週の間隔をおいて3回目を接種します。急ぐ場合は、2週間隔で2回接種しても免疫は得られますが、3回目を接種することで、より長期の免疫が得られます。国内でも食物などによる感染がおきていますので注意が必要です。